

# UNO stacko ウノスタッコ

ウノと同じルールで、色、数字、記号が同じ  
ブロックを引きぬいて積み上げよう!

## ゲームルール

(このゲームルールは保管してください)

## どんなゲーム?

タワーをこわさないように、順番にブロックを引きぬくゲームです。前の人引きぬいたブロックと同じ色か同じ数字のブロックを引きぬいて、タワーのてっぺんに置きます。記号ブロックが引きぬかれたら、次の人はその記号の指示に従います。タワーをこわしたら、負けです!

入っているもの:ブロック45個、ローディングトレイ  
パッケージからすべて取り出して、以上のものが入っている  
ことをご確認ください。

## タワーの作り方

最初に親を決めて、親がタワーを作ります。テーブルの上に3つのブロックを並べ、直角に交差させながら3つずつ重ねていきます。ブロックはランダムに並べて、パッケージの写真のようなタワーにします。ローディングトレイを使って、タワーをまっすぐにします。ローディングトレイは、パッケージにしようときも利用できます。親の左どなりの人のが最初のプレイヤーです。

## あそび方

最初のプレイヤーはブロックをひとつぬきます。数字ブロックを引きぬいたら、次のプレイヤーは同じ数字か同じ色、またはワイルド(ワイルドの説明をお読みください)を引きぬきます。ブロックは、タワーのてっぺんのブロックを選ぶのではなく、途中から引きぬきます。引きぬいたブロックはタワーのてっぺんに、下のブロックに交差させる向きで、3つずつ並ぶように置きます。



## リバースブロック

順番の移る方向が逆になります。左回りだったのが右回りに、右回りだったのが左回りになります。次にリバースが引きぬかれるまで、回る順番は変わりません。次の人は、同じ色かリバースまたはワイルド(ワイルドの説明をお読みください)を引きぬきます。



## ドロー2ブロック

次の番の人は、引きぬかれたドロー2と同じ色のブロックを2個引き、積み上げます。そのまた次の人は、2つ目に置いたブロックの指示に従います。



## ワイルドブロック

引きぬいた人は、好きな色を宣言します。次の人は宣言された色のブロックを引きぬきます。ワイルドは、前の人があるブロックを引きぬいても次の人が引きぬくことができるブロックです。

## ルール

- ブロックを引きぬくときは、片手しか使えません。もう片方の手でタワーを押さえたり、支えたりすることはできません。ブロックを持ち替えることはできます。
- ブロックを探るときに、ブロックに触ることができます。触ったら元の位置に戻してから次のブロックを触りましょう。このときも片手しか使えません。タワーが斜めになってきたら、引きぬいているプレイヤーが垂直に直すこともできます。ただし、片手で!
- タワーの上にブロックを置くことができたなら、あなたの順番は終わりです。
- 「ウノ」と言うときは  
誰かが引きぬくときやタワーを垂直にするとときに両手を使ったら、他のプレイヤーは「ウノ」と叫びます。ウノと言われたら、「ウノ」と叫んだ人の宣言する色のブロックを2個引き、積み上げなければいけません。

## 2人でプレイするとき

リバースのときは、ドロー2と同じルールになります。次の人は引きぬかれたリバースと同じ色のブロックを2個引きぬきます。

## ゲームオーバー

タワーをこわしてしまったプレイヤーは負けです。最後にブロックを引きぬいて、てっぺんに置いた人が勝者です。



## 色の識別可能なユニバーサルデザイン

すべてのカードに、色を識別できるシンボルマークが付いています。誰でも遊びやすいユニバーサルデザインです。



= 赤



= 黄



= 緑



= 青